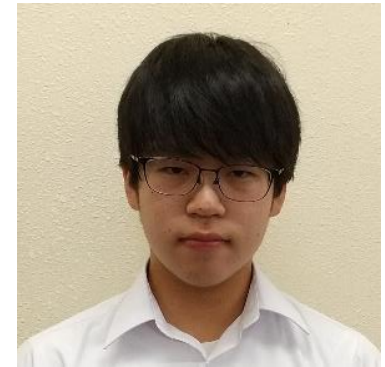


題名 広島平和記念式典派遣事業に参加して考えること。

鹿沼市立北犬飼中学校 (氏名) 増渕 僚学



私は今回の派遣事業を通して、核兵器の恐ろしさを知りました。

以前の私は、核兵器の怖さはその爆発や爆風の巻き起こす災害だと思っていました。しかし、実際に広島に行き、原爆資料館などで被爆者の写真や家族に宛てた手紙等の展示物を見ているうちに、核兵器のもう一つの怖さに気がつきました。それは、放射線です。放射線によって、直接被爆しなかった人も含め、何人もの人が後遺症や病に苦しみ亡くなってしまいました。もう二度とこのような苦しみを味わう人が出ないでほしいと、改めて強く思います。現在、世界は3度目の核兵器の使用に怯えています。そんな時代だからこそ、実際に被爆地へ行き身に付けた知識を多くの人に発信することが大切だと思いました。